

平成30年12月10日
仙台管区気象台

仙台で初積雪を観測

12月8日に、仙台管区気象台で初積雪を観測しました。

平年と同じ（平年は、12月8日）、

昨年より4日早い（昨年は、12月12日）観測です。

参考資料

1. 初積雪とは

寒候期（秋から春に至る期間）の中で季節的な現象としての積雪があった最初の日を言います。

2. 積雪とは

固形降水（雪、霧雪、みぞれ、吹雪、細氷、雪あられ、ひょう、氷あられ、凍雨（ただし、寒候期のひょう及び氷あられを除く））が、観測場所周辺の地面の半ば以上を覆う現象。おおむね露場の半ば以上を覆う場合を積雪としています。

3. これまでの観測記録

仙台管区気象台では1926年から観測を行っており、これまでの一番早い記録、一番遅い記録は以下の通りです。

一番早い記録（最早）：2002年11月10日（平成14年）

一番遅い記録（最晩）：2016年 1月11日（平成28年）

4. 観測方法

観測は目視によって行い、「日」を単位としています。

本件に関する問い合わせ先

観測課 平日 08:30-17:15 Tel 0 2 2 - 2 9 7 - 8 1 0 6

夜間、土日祝祭日 Tel 0 2 2 - 2 9 7 - 8 1 4 1

Fax 0 2 2 - 2 9 7 - 8 2 6 0